

東京聖栄大学第6期生学位記授与式



三月十五日に学位記授与式がわたなべ記念館において挙行されました。第六期生一二四名が聖栄会に入会されました。心からお祝い申し上げます。

聖栄会だより

ご挨拶



聖栄会会長
高橋 興亜

春の日差しが心地よい毎日でございますが、会員の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

昨年の暮から今年にかけて、ノロウイルスによる集団感染が猛威を振りました。現在は花粉症に苦しむ人が多く見られています。最近、様々な環境の変化をもたらしている地球温暖化は、食生活まで変化させています。例えば、以前は不味いと言われた北海道産米は、品種改良が重ねられ「ゆめぴりか」をはじめとする美味しい米が流通するようになりましたが、地球温暖化による気温の上昇も美味しくなった一因であると言われています。また、海水温の上昇により、北海道と言えは有名なサケが不漁、獲れることがなかったブリが豊漁となる異変も生じております。健康志向が高い国民は、今日ほど食の安心、安全、衛生を強く求めていることはありません。誰にとっても、これらは大きな関心事であり、避けて通ることのできないことです。



発行 東京聖栄大学同窓会
聖栄会
編集 東京聖栄大学
聖栄会本部事務局
〒124-8530
東京都葛飾区西新小岩1-4-6
TEL 03-3692-0211 (代)
<http://www.tsc-05.ac.jp/seieikai/index.html>

さて、本年三月に卒業された新しい聖栄会の仲間、希望した新しい職種で孤軍奮闘していることと思いますが、仕事に慣れるまでは大変だと思います。そんな時こそ本会にご相談いただきたいと思えます。本会は親睦のためだけでなく助け合い、励まし合い、楽しく職務をまっとうすることが出来るように支援することも大きな目的です。そのためにも、会員同士が連携を図り、情報交換から種々の問題を共有し、解決の糸口をつかむことが大切です。在校生に対しては、大学とは違った将来への方向性を側面から支援することも聖栄会の役割であり、母校への貢献につながるものと思えます。

二〇一三年の東洋経済による国公私立大学のデータによると、母校（学生の充足、教育、就職において）は実力のある大学として上位に位置し、大きく躍進しております。目覚ましい母校の躍進があれこそ、聖栄会の存在を示すことができそうです。母校と本会が連携を深め両輪で進まなければ評価には結びつきません。そのためにも若い力、新しい力を迎えて組織強化を図り、卒業生の資質向上のための支援、在校生へのキャリア教育、対話集会など実践活動にも力を注ぎ支援して参りたいと考えています。

聖栄会の活動を価値あるものにするために、会員の皆様と積極的に議論したいと存じますので、総会、大学祭（聖栄葛飾祭）等の大学行事には是非ご参加下さい。聖栄文化研究会は、平成二十六年十月五日（日）「随園別館」にて開催いたします。北京料理の歴史、特色などについて勉強したいと存じますので、皆様お誘い合わせの上ご参加下さい。また、本年度の新役員は、食品学科二名、管理栄養学科二名の卒業生が新しく入会してまいりましたのでご報告させていただきます。

最後に母校の発展と聖栄会の皆様のご活躍を心よりお祈りし、ご挨拶いたします。

ご挨拶



名誉会長
松本 信二

今年に入ってから天候は厳しい寒さが長く、大雪に遭うなど冬が長く感じられましたが、季節は正直なもので、春分を境に日本各地から桜の便りが聞かれるようになってきました。

本学は大学としてスタートしてから早十年目を迎えております。この間なかなか収容定員を満たすことが出来ずにおりましたが、二十六年度の新入生を迎え初めて両学科とも全ての学年で定員を満たすことになりました。少子化や私立大学の増加で、受験生の確保が難しい現状にありながら、年々改善を続け十年目にして定員の確保が達成されたことは誠に喜ばしく思っております。また、懸案であった管理栄養学科における栄養教諭一種免許取得のための教職課程の設置が認定され、二十六年年度から開設される運びとなりました。

このように本学も徐々にではありますが、着実に充実度を深めて来ております。これらのことは教職員の努力もありますが、窓生の皆様をはじめ本学をご支援くださっている多くの方々のお陰と感謝する次第です。

さて、大学の発展に資する大きな要因は学生の頑張りは勿論ですが、卒業生の社会における活躍に負うところが大きく、その活躍が後に続く後輩の刺激になりよい循環を生み出すことは論を待ちません。本学は四年制大学として六期、約七百名の卒業生を社会に送り出し、それぞれの立場で活躍することで大学の発展に寄っております。しかし、この十年間の発展を見ますと、本学の歴史、即ち専門学校、短大の卒業生の方々が永年にわたって積み重ねた実績に負うところが大きいものと信じております。そのような意味でも新旧すべての卒業生の同窓会組織である聖栄会が大学にとって貴重な存在であり、会の充実と同時に大学の発展に寄与するものと期待しております。

これからも教育内容の充実を図るため、教職員、学生一丸となり一層の努力を続けてまいります。聖栄会の皆様にはこれまでに変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

卒業生の皆様へ



名誉顧問
福澤美喜男

卒業生の皆様には日々ご活躍のことと存じます。まず私は以前から年齢が八十歳を迎える前に学長を退任しようと考えていたもので、昨年三月三十一日をもって五十二年間の教員生活にピリオドを打ち、現在は学校法人東京聖栄大学の理事長を務めております。また聖栄会から名誉顧問を委嘱されたので、引き続き同窓会の発展のために微力を尽す所存であります。

大学は昨年四月から学長に食品学科の松本信二教授、学部長に管理栄養学科の阿左美章治教授が就任し、新体制で大学の運営に当たっております。

近年文科省は私立大学に教育研究資金として各界から浄財を集めることを奨励しているため、毎年本学でも同窓生にお願いしているため、毎年本学でも同窓生にお願いの文書を送っております。昨年も大勢の同窓生からご寄付を頂きありがとうございました。この寄付は一口五千円で二口以上お願いしておりますので、書類が届きましたら、宜しく応分のご寄付をお願いいたします。

聖栄会も、長年会長としてご苦労なされた荻野薫子氏が勇退し、新会長に元国立医療センターの栄養管理室長だった高橋興亜氏（専門七期生）が就任し、新体制のもとで同窓会活動の活性化を計るよう努めておりますが、現在の聖栄会の活動は残念ながら低調です。年一回の総会も極めて低調で、役員の方々も苦労をしておりますが、いっそうに成果が出ない状態です。そこで卒業生にまず参加してもらおう事を考え、各期毎に各卒業年次のミニクラス会を開催してもらうことも卒業生を集める一案かと思っております。同窓会活動の活性化には各期毎の幹事さんの力添えが大変重要だと考えます。会長以下これからの聖栄会を運営する役員は大変な苦労と思えます。最近大学の教職員に若い卒業生が採用され、職務の傍ら聖栄会の仕事にも積極的に関わってもらっております。

結びになりますが、同窓生の皆様には今後のご活躍をお祈り致しますと共に、六月の総会、十一月の聖栄葛飾祭には是非お越し下さい。お待ちしております。

平成二十五年度 聖栄会総会開催

平成二十五年度聖栄会総会が六月二日（日）、東京聖栄大学において開催されました。
 高橋氏（専門七期）が議長に、立川氏（短大三期）が副議長に選出され、議事に入りました。

荻野会長（専門二期）より次のような挨拶がありました。
 「今年度は役員改正の年となります。私は三十五年前から同窓会の仕事を始めました。はじめは名簿作りのお手伝いをした事がきっかけでした。その後輩のため会長を引き受け、苦勞する事もあり本日まで長い道のりではありましたが、みなさまのご協力のおかげで会長としての役割を完遂することができました。役員を引き継いだ人たちにこれからもぜひ頑張ってもらいたいと思っています。」

引き続き報告、議事と進行されました。
 荒木氏（短大九期）から平成二十四年度事業報告、哥氏（短大三十九期）から平成二十四年度会計報告があり、会員の拍手を以て承認されました。続いて平成二十五年度事業計画案と予算案が提出され、それぞれ承認されました。
 役員改正に伴い、新役員が選出されました。

- 会 長…高橋 興亜〔専門七期〕
- 副 会 長…永野 幸枝〔短大三期〕
- 荒木 裕子〔短大九期〕
- 総 務…飯田真由美〔短大三十七期〕
- 山本 浩作〔大学一期〕
- 立川 知子〔短大三期〕
- 庶 務…宮本 理恵〔大学四期〕
- 海老澤隆史〔大学二期〕
- 山中 咲〔大学五期〕
- 会 計…哥 亜紀〔短大三十九期〕
- 本間優理亜〔大学四期〕
- 会計監査…牛澤 良美〔短大二十七期〕
- 吉田真知子〔短大二十八期〕
- 書 記…矢島 克彦〔大学二期〕
- 宮島 美瑠〔大学五期〕
- 顧 問…荻野 薫子〔専門二期〕



第二十五回 食文化研究会開催される

今回の食文化研究会は第二十五回記念として、那須方面のバス旅行を実施いたしました。訪れたのは「アワーズダイニング」で、漬口シェフの素材から手作りというコンセプトの料理を楽しまました。まず、一つ目の前菜は自家製野菜たっぷりの一皿、次の前菜は七つの料理からできており、一つひとつが工夫された料理でした。自家製の湯葉やエビフライの様でスパイスの効いたニンジンのフライだったり、参加者の皆さんは驚きながらも楽しんでいらつしました。スープ、メインの肉料理、玄米ご飯と味噌汁、食べきれないほどのデザート、ハーブティーや玄米コーヒールなどをいただきました。その後、足利にある「ココファーム」でワインを楽しまました。ココファームで製造されているワインは、国産のおもてなしをするときに、度々使われるというワインで、その質の高さには定評があります。参加者の皆さんも試飲したり、赤白のワインを購入したりと楽しんでいらつしました。



平成二十六年 定期総会開催のご案内

平成二十六年の定期総会ならびに懇親会を左記の通り開催いたします。

- ◎日 時 六月一日（日） 定期総会 十一時から 懇親会 十二時三十分から
- ◎会 場 総 会 東京聖栄大学別館四階会議室 懇親会 一号館一階多目的ホール
- ◎懇親会費 一〇〇〇円

懇親会は多目的ホールで開催いたします。皆様お誘いあわせの上、お気軽にご参加ください。
 ※同封のハガキで五月二十日までに申し込みください。
 ※会費は当日いただきます。
 ※なお、欠席される場合でも必ず委任状をご投函願います。

第二十六回 食文化研究会開催について

本年度の食文化研究会は中国料理についての勉強会です。これまで本研究会では中国料理の勉強会として、銀座福臨門、重慶飯店の四川料理や薬膳料理などの研修を実施してまいりました。今回は中国料理の中でも北京料理を学びます。北京料理は北京ダックや小麦粉文化を象徴とする水餃子や小籠包などが知られていますが、今回は本場の北京料理が日本にないがらにしていた「隋園別館」での研修会です。食文化研究会オリジナルのメニューで、北京料理を学び味わいたいと思います。皆様、お早めにお申し込みください。

記

- ◎日 時 平成二十六年十月五日（日） 十一時四十五分集合
- ◎集合場所 東京駅北口新丸ビル五階 隋園別館
- ◎会 場 隋園別館 新丸ビル店
- ◎参加費 六〇〇〇円
- ◎募集定員 三十名（定員になり次第募集停止します）

ご参加希望の方は東京聖栄大学食品学第二研究室の荒木か、聖栄会総務の飯田までお申し込みください。
 電話番号 〇三三二六九二〇二二一（内線六三三）

幹事 短大九期 荒木

管理栄養士 国家試験に チャレンジ している皆様へ

卒業生の国家試験対策を実施しています。
 ホームページで卒業生用国試対策を開始しました。
 管理栄養士国家試験に合格するために模擬試験を受験したい方はどうぞ!!
 TEL:03-3692-0211(内線152)
<http://www.tsc-05.ac.jp/>
 国家試験対策 卒業生対象 在学生
 ↑ここから入れます。

同窓生通信

聖栄大学への思い

短大三十四期 小川 三記

昨年、管理栄養士試験対策のため
に大学のお世話になりました。試験
に挑戦を決め、一から勉強のやり直
しでした。さらに、卒業して十数年
たつてからの試験対策は、一人では
わからないことはかりでした。

色々悩んでいた時に、大学に問い
合わせをしたところ、勉強の方法、資
料やテキスト、模試の案内など種々
情報を教えていただきました。それか
らは、相談や質問が気軽にできるよ
うになり、勉強の効率も上がりました。
合格できたのは先生方のおかげです。

振り返れば、在学中は大学に行く
のが嫌で毎日が憂鬱でした。短期大
学の時だったこともあり、学科と実
験、実習やレポートに追われる毎日
で、余裕がありませんでした。学生
の人数も多く、いろいろなことが窮
屈で、何度も辞めたいと思っていま
した。それでも、両親への申し訳な
い気持ちと、学ぶ教科への興味から
無事卒業できました。

今では笑い話ですが、体育の授業の
場所が大学とは別の場所、しかも午
前中が調理実習だったため、授業開始
時間に間に合わせるが大変でした。
最寄駅から遠く、行くだけで運動に
なったのでは
ないかと思ひ
ます。



卒業後は、
栄養士として
勤務をしまし
た。調理場で
勤務している
なかで、大学
で細かく指導

を受けたことは基礎の基礎で、学ん
でおいてよかつたと思えるようにな
りました。指導する立場になってか
らは、大学で教わったことを柱にし
ていました。何も指導していない大
学もあることに、驚くこともありま
した。

そんな気持ちの変化があつたこと
もあり、今回大学に問い合わせをし
ました。大学に行ってみると、在学
中に教わった先生方が健在で、なつ
かしい気持ちになりました。在学時
はわからなかつた先生方の有難さを
実感し、挫折することなく勉強を続
けることができました。

卒業後の試験勉強は、孤独です。
私は、試験対策のために退職し、一
年間勉強に費やしましたが、勤務し
ながらではとても大変だと思ひます。
もし、管理栄養士試験対策に悩ん
でいる方がいたら、大学に問い合
せてください。大切なのは、勉強の
方法とわからない箇所をそのままに
しないこと。先生方は、合格へのポ
イントを踏まえて教えてくれます。
勉強の効率もあがります。何より、
相談できる場所があるのはありがた
いことです。先生方を頼って信じ努
力をすれば、必ず受かります。

聖栄大学は、ほんとに生徒の親身
になって対応してくださる学校だと
思ひます。先生方への恩返しも込め
て、今後、管理栄養士として活躍し
ていきたいと思ひます。

夢を叶えた学生生活

大学二期 今井 亮輔

平成二十一年度食品学科卒業生の
今井亮輔です。東京聖栄大学を卒業
して、シオノケミカル株式会社高崎工

場に就職しました。弊社は医薬品の中
でもジェネリック医薬品を主に製造販
売しています。厚生労働省がジェネ
リック医薬品の使用促進に取り組ん
でいるため需要のある業界といえます。
私は、医薬品の品質試験業務を行っ
ています。製剤の定量試験、溶出性
試験、純度試験など東京聖栄大学で
学んだ理化学試験や機器分析等を最
大限に生かせる仕事です。患者様に安
心で安全な高い品質の医薬品を安定
供給するために、責任のある業務なの
でもとやりがいを感じています。

入社して衝撃を受けたのは、高速
液体クロマトグラフィーが三十台以
上並んでいて、そのほとんどが稼動
していたこと。もうひとつは、仕事
だけではなく遊びにも熱心な会社で、
社内イベントが多いことです。春は
工場の大きな桜の下で花見やタケノ
コ掘りにイチゴ狩り。夏は伊豆の保
養所に宿泊。秋はジャガイモ掘りや
リング狩り等の収穫祭。年に一度は
社員旅行へ連れて行っていただいでい
ます。昨年の韓国旅行では北朝鮮と
の軍事境界線に位置する板門店ツ
アーでした。服装や持ち物、行動制
限が厳しく、雨の日は傘も差せませ
ん。銃を持った軍人さんが普通に歩
いているので怖かったです。

東京聖栄大学に在学中は授業や課
題、部活、アルバイト、遊び等であつ
という間に終わってしまったという
印象が強いです。
授業では試験器具や高速液体クロ
マトグラフィー等の使用経験が、仕
事に直結して役立っているのが本当
に感謝しています。幼い頃からデス
クワークではなく、手に職をつけた
と考えていたのでひとつ夢が叶い



ました。東京聖栄大学紀要第二号に
卒業研究の一部を眞木俊夫教授と山
本直子助手の指導の下で掲載できた
ことも良い経験となりました。

部活は食品化学研究部、バレーボー
ル部、軽音楽部の三つに所属してい
ました。食品化学研究部ではスナッ
ク菓子に含まれる油脂の定量等を行
いました。個人的には学園祭で売れ
ば売れば赤字になってしまいう美味
しいシチューを早朝から準備したこ
との方が思い出深いかもしれませ
ん。現在は部員が少ないとの噂を聞いた
のでとても寂しいです。

バレーボール部では、学生生活で身
体を動かせる貴重な時間でした。ま
た集まってわいわい試合したいです。
軽音楽部では、学園祭に向けて大
学が閉まるまで練習していました。
年に一度のために練習していた日々
が、大学生生活で一番好きでした。
いつか親父バンド結成したいです。

大切な友人たちに出会うきっかけ
をくれた東京聖栄大学、これまで育
ててくれた家族に感謝しています。ま
たどこかで皆様とお会いできること
を楽しみにしています。群馬県に来
る機会があれば、ぜひ伊香保や草津
温泉で仕事の疲れを癒してください。
末筆ながら皆様のご健勝と御発展を
心からお祈り申し上げます。

仲間の大切さ

大学三期 飯島 康一

入学シーズンとなり、あちこちに
初々しい新入生の姿を見かけます。
自分もこんな時代があつたのだなど

感じるとともに、時の流れの速さに
ただただ驚かされるばかりです。
東京聖栄大学を卒業して給食会社
に就職し、四年目に突入しておりま
す。入社した頃は学生の気分が抜け
ず、上司や先輩方に迷惑をかけてば
かりいりました。今でもそれはあまり
変っていませんが、少しづつ、自分
なりの仕事に対するこだわりのよう
なものを形成しつつあり、それに従
って自分で判断を下し物事を円滑に進
めていき始めている段階です。

私は今、高齢者特別養護老人施設
に配属されています。仕事は主に調
理、盛り付け、利用者様の食形態の
管理、発注などです。高齢者の嚥下
能力や嗜好に合わせた調理・加工を
おこない、衛生面に細心の注意を払
いながら仕事をしています。特に私
が大切にしているのは、毎日の食事
がより楽しみになるように工夫をし
るといふことです。例えば外食をし
て、出された料理が美味しくなかつ
た時、皆様だったらどうするでしょ
う。おそらくほとんどの方がその店
を二度と利用しないのではないかと
思ひます。しかしそれは、私たちの
身の回りに無数の飲食店があり、そ
の中から食事を「選択」できるから
です。ですが、施設の利用者様はそ
の食事の選択が困難です。出された
料理がどんなに美味しくもないので
も、その料理を食べ続けるしかな
いのです。食事は健康維持のために
必要不可欠なものです。何よりも、
お客様から楽しみを一つ奪ってしま
うことは絶対にしてはいけないこと
だと思っております。そのため日々、
学びながら取り組んでいます。



ただ、自
分の請け
負っている
仕事の重
責任の重
さにくじ
けそうに
なること
がありま
した。そ
んなとき
こそ大学時代の仲間の「飲みに行こ
うよ」メールが救いとなる場面が幾
度となくあつたのです。
仲間とのつながりが今でも続いて
いるのはとてもありがたいことです。
特に私が所属していた調理実習部で
は定期的に集まりがあり、現状報告
や大学時代の思い出話に花が咲いて
おります。岩手からわざわざ上京し
てくれる者、公務員になつた者、私
と似た仕事をしている者、別の道を
歩んだ者、大学に残つた者、進学し
た者。選んだ道は様々ですが、四年
間管理栄養士合格という共通の目標
に向かい突っ走つてきたので、その
つながりはより一層強固なものに
なつていっていると思ひます。これか
らこのつながりが続けばいいと
願っております。

お客様に楽しみにしていただける、
安心して安全な食事を提供することに
心血を注いでいる毎日ですが、仲間
との絆を大切に、これからも私ら
しく前向きにいききたいと思ひます。
最後になりましたが、東京聖栄大学
の益々のご発展を心よりお祈り申し上
げております。ここまで読んでいただ
きありがとうございます。

◆聖栄葛飾祭のご案内

聖栄会では、今年も聖栄葛飾祭にお
いて別館四階を会場としてお茶席を設
けます。会員の方はもちろんのこと会
員以外の方のご来場も大歓迎です。せ
ひお越しください。
日時：平成二十六年
十一月八日(土)・九日(日)
各日十時から十六時

お知らせ

●入試説明会 (要予約)

6月14日(土) 6月28日(土)

●オープンキャンパス (要予約)

7月12日(土) 7月19日(土)
8月9日(土) 8月23日(土)
8月30日(土) 3月24日(火)*

*3月24日(火)は高校1・2年生対象

●受験相談会 (要予約)

10月11日(土) 10月25日(土)
11月29日(土)

●聖栄葛飾祭 (予約不要)

11月8日(土) 11月9日(火)*

*受験相談コーナーを開設します

入試説明会・オープンキャンパス・
受験相談会は
各日とも12:30受付、
13:00~16:00となります。

お問い合わせは
電話03-3692-0238
入学相談室まで

第六回卒業研究発表会の開催

二月八日に第六回卒業研究発表会が開催され、各研究室から口頭発表三十三報、ポスター発表九報計四十二報の研究発表がありました。今回の発表会はポスター発表も加わり、ゼミ生が全員ゼミでの研究の成果を発表しました。また、雪の影響により二日に亘っての発表会になりました。研究成果の一部を紹介します。

- 食品加工工学研究室(片山講師)
 - ・ 味噌の性状と抗酸化活性性について
- 食品学第二研究室(荒木准教授)
 - ・ テンペについての研究
- 食品学第一研究室(筒井教授)
 - ・ アシタバの食品添加の研究
- 微生物学研究室(丸井教授)
 - ・ 市販品塩麹と自家製塩麹の鶏肉に及ぼす影響の違い
- 調理科学研究室(品川教授)
 - ・ ホットケーキのメニュー開発
- 食品開発研究室(井筒教授)
 - ・ タピオカを添加したグミのテクスチャー
- 食品衛生学研究室(眞木教授)
 - ・ 野菜漬中のメチルフェオフォルバイトの生成条件
- 栄養学研究室(前田教授)
 - ・ 2種のエゴマがラットの生体内栄養素量、臓器重量、脂肪重量および生化学検査に及ぼす影響
- 調理学第二研究室(吉田講師)
 - ・ 埴町復興支援と商品開発



体 育 祭

平成25年5月24日(金)、船橋グラウンドに於いて体育祭が開催され、聖栄会は協賛参加しました。当日は天候にも恵まれ、全プログラムが滞りなく終了し、クラスの親交を深めた一日となりました。聖栄会では総合優勝した1クラスに会長賞、出席率100%の1クラスにチームワーク賞を授与しました。



管理栄養学科 宿泊研修 (千葉県 白子)

管理栄養学科新入生宿泊研修は千葉県の「白子」にて研修が行われました。

研修プログラムは「仲間作り・グループワーク」から始まり同級生や先輩、先生との交流を深め、夕食では「長生支部」の栄養士の方々による食育についての寸劇を披露して頂きました。翌日、見学した「日本エアロビクスセンター」では健康づくりについて体験を交えて学ぶことができました。今後の学校生活に向けて、一人ひとり大変充実した研修となりました。



聖 栄 葛 飾 祭

平成25年11月9日(土)・10日(日)に、『聖栄葛飾祭』が開催されました。今回のテーマは「彩食健美」で、テーマに合わせて各団体が統一された装飾がなされていました。

聖栄会では、恒例のお茶席を設け、多くの卒業生が来場されました。また、学友会主催のチャリティーもちつきに協賛参加しました。

平成26年度『聖栄葛飾祭』は11月8日(土)・9日(日)に開催されます。詳細は大学・聖栄会のホームページをご確認ください。多くの卒業生の方のご来場をお待ちしております。



海外食事情研修

平成25年度海外研修が2月12日～18日で行われ、25名の参加者がイタリア、フランスの2国の食事情について研修してきました。イタリア・ローマでは実際に手打ちパスタの実習を行い、フランス・パリでは、レストランでのディナーなど食と文化を体験する充実した研修となりました。



食品学科 新入生宿泊研修 (日光市)

東京聖栄大学に9回目の春が訪れました。不安とドキドキが入り混じる中、入学式を迎えた新入生。入学後、1泊2日の新入生宿泊研修が葛飾区立林間学園で実施されました。研修では、1日目に学科ガイダンスが行われ、食品学科の目的、教育課程ならびに卒業までに取得できる資格について各教員から話されました。2日目では、日光東照宮拝観、おかし製造工場の見学、豆腐作り体験を行いました。2日間の研修を通して、大学生としての



日光東照宮

の自覚が芽生え、クラスだけでなく教員との距離も縮まり、有意義な研修になったようです。



豆腐作り体験